

承合事項 A 令和5年度の図書館活動について

回答大学名： 広島大学

1. 教育支援

- ・ 新入生必修授業「大学教育入門」で講義「図書館の使い方と資料の収集」を実施。受講生 2,486 名。
- ・ 図書館利用講習会・ガイダンスを 37 回実施。
- ・ ライティングセンターで日本語文章・英語文章のライティング相談を 318 件実施。
- ・ ライティングセンターで新しくライティング相談のコメントサービスを開始（5月）。
- ・ ジャパンナレッジのアクセス数を 4→10 に増やしたが、さらに 2024 年度からアクセス数無制限へ変更。代わりに利用単価で割高なものを中止。
- ・ 英語学習イベント「図書館で English」を 4 回開催（10～1 月）。
- ・ 各館で年間を通じて計 48 件の図書資料等の展示を実施。
- ・ 全国大学ビブリオバトルブロック予選 in 広島大学、ブロック決戦を開催（11 月）。

2. 研究支援

- ・ 国文学研究資料館歴史的典籍ネットワーク事業による貴重資料の電子化を実施（令和5年度で事業は終了）。
- ・ ライティングセンターとマレーシアパハン大学との合同でアカデミックライティングやプレゼンテーションをテーマとしたオンライン・ウェビナーと対面ワークショップを開催。
- ・ ライティングセンター主催のセミナー（Scival、出版倫理ほか）9 回、ワークショップ 10 回を実施。
- ・ 学術情報リポジトリ登録件数 1,405 件。
- ・ JPCOAR スキーマ対応のリポジトリシステムにデータ移行。
- ・ 学内 APC 助成制度の開始。助成件数：67 件。
- ・ 2024 年度の電子ジャーナル等契約において円安による価格上昇の影響により、利用単価が割高なものを 3 点中止。
- ・ 電子ジャーナルの Springer および Wiley の転換契約開始。
- ・ 広島大学出版会から書籍 2 点を刊行。
- ・ 広島大学出版会令和4年度出版の「ヨコエビはなぜ『横』になるのか」について県内書店にコーナーを設けるプロモーションを展開し売り上げに貢献。（7-8 月）
- ・ 国際的な文献提供システム RapidILL を導入（1 月）

3. 社会貢献

- ・ 中学校職場体験、特別支援学校就業体験を計 4 件実施
- ・ 広島県の観光パンフレットを集めて展示した「ようこそ広島へ」を開催（7月）。
- ・ 広島大学文書館との共催で、被ばく遺構材を用いて制作されたオブジェ「あの日」の展示を実施（8月）。
- ・ 広島大学創立75+75周年事業として広島大学文書館との共催で「広島大学の歴史展2023」を実施。また連動企画として各館でも関連資料を展示（11月）。
- ・ 「ヨコエビはなぜ『横』になるのか」（広島大学出版会）の著者を講師として、理学部主催のサイエンスカフェを開催。また、関連資料を研究成果公開として館内に展示（12～1月）。
- ・ 広島市立図書館連携講演会「古代中国の呪術」開催（2月）。

4. 管理運営

- ・ 法学部の広島地区移転に伴い東千田図書館を改修し 2023 年 4 月オープン、面積は約 2 倍。
- ・ 西図書館休業期休日等部分開館を 2024 年 4 月から開始。
- ・ HU Library News 発行 https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=32675
- ・ 広島大学職員採用試験（図書系）を実施し、1名を採用。
- ・ JUSTICE、JPCOAR の作業部会委員として 3 名の参画。

5. その他

承合事項A 令和5年度の図書館活動について

回答大学名：尾道市立大学

1. 教育支援

- ・希望するゼミの新生、留学生への図書館案内
- ・学生アルバイトによるおすすめ本コーナーの設置
- ・OPAC利用マニュアルの作成
- ・各学科教員選定の基本図書、各研究科教員選定の大学院用図書の整備

2. 研究支援

- ・リポジトリ（JAIRO Cloud）への学内刊行物・貴重書の登録
- ・データベース（ジャパンナレッジ Lib）の同時アクセス数を増強

3. 社会貢献

- ・市内高等学校の図書館見学受入
- ・市内中学校の職場体験受入
- ・コロナウイルス5類引き下げに伴い学外者の図書館利用時間制限を解除

4. 管理運営

- ・図書館システム更新（E-CatsLibrary）
- ・新図書館建設に向けた設計協議
- ・貴重書（下垣内文庫）の書架整理

承合事項A 令和5年度の図書館活動について

回答大学名：県立広島大学

1. 教育支援

- ・学科推薦図書、教員推薦図書、コースカタログ掲載参考文献等のコーナーを整備
- ・初年度教育科目「大学基礎セミナーⅠ」のうち、2コマを利用し、新入生オリエンテーションよりもさらに詳細な図書館の利用、文献検索に関するガイダンス及び図書館見学ツアーを対面にて実施
- ・「研究で使う社会調査入門講座」「卒論・卒研で困っていることを解決しよう」の2講座以をオンラインにて実施
- ・学生選書を広島市内書店において実施
- ・ビブリオバトル地区予選を4年ぶりに実施
- ・学生が作成したアプリによるオンライン脱出ゲームを実施
- ・図書館講座（図書館利用ガイド・学生による企画展示）を実施
- ・学生による投票方式での選書を実施

2. 研究支援

- ・教職員からのレファレンス及び相互貸借サービスの個別対応
- ・機関リポジトリ登録

3. 社会貢献

- ・地域の方（小中学校4校を含む）を対象に図書館見学を受入れ（庄原キャンパス）

4. 管理運営

- ・図書館利用アンケートを実施
- ・学術情報センター報（図書館報）の発行
- ・大学の活動基準に沿った図書館の運営、それに伴う利用案内の周知

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：広島市立大学

1. 教育支援**(1) 新入生向け図書館ガイダンス (4/6~5/10)**

昨年度に引き続き、新入生を対象に授業の一環として、オンラインでのガイダンス動画視聴（所要時間約 60 分）及び図書館内で実習課題（所要時間約 30 分）を実施した。職員は、カウンターでの提出課題の確認や、実習のサポート等を行った。Forms 機能を活用した事前予約を促し、来館者数の把握を行うことで、混雑緩和を図った。

(2) 演習教材の提供

教員からの申し出により、国際学部 2 年生及び国際学研究院生を対象に、研究や論文執筆のための図書館利用について、動画・資料を作成し提供した。

(3) ビブリオバトル (10/28)

本学大学祭に合わせ、図書館内ラーニングコモンズにおいてビブリオバトル地区予選大会を実施した。発表者 6 名、観覧者 25 名が参加した。チャンプ本に選ばれた学生は、その後中国 E ブロック決戦（11 月広島大学千田キャンパス）、首都決戦（12 月・昭和女子大学）に出場した。

2. 研究支援**(1) 学術情報リポジトリの運営**

コンテンツ数 168 件増加（累積 1,932 件） ダウンロード数 99,347 件

(2) 雑誌等の購読中止

円安や価格高騰の影響により、2024 年契約の雑誌等（計 40 件）の購読を中止した。

3. 社会貢献**(1) 公立図書館との連携**

広島市立図書館との図書相互貸借・情報交換を実施した。

(2) キャンパス見学等の受入

県内・県外の中学校・高等学校のキャンパス見学を受け入れた。

4. 管理運営**(1) 広報**

X (旧 Twitter) の更新や、館報「知恵の樹」（年 2 回）の発行を実施した。

(2) 除籍本の有償譲渡

除籍本を教員及び学生を対象として、段階的に有償で譲渡した。

資料 15-5

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：福山市立大学

1. 教育支援

- ・都市経営学部 1 年生の必修授業「大学入門ゼミ」において図書館ガイダンスを実施。情報リテラシー教育を盛り込み、課題に書籍検索に加えて論文検索も習得できるよう組み込んだ。
- ・アラカルト式の個別のガイダンスを実施（13 回）。
- ・共通教育科目「社会調査法」の「情報リテラシーについて」のパートについて、図書館職員も授業内容の組立に関わり、オンデマンド動画にて講義を行った。
- ・購読洋雑誌に付随するオンラインジャーナルについて、図書館 HP のデータベースページ及び OPAC の雑誌情報にてリンクを案内した。
- ・図書館 HP のデータベースページでユーザーガイドや使い方動画のリンク案内を行った。
- ・学生選書ツアーを Web と店舗のハイブリッド開催（年 2 回・合計参加 20 人、購入 152 冊）。
- ・データベース『日経 BP 記事検索サービス』の日経 BP マーケティングの専門講師による講習会（対面とオンラインのハイブリッド）を開催（参加 16 人）。
- ・図書館 HP において「図書館の便利な使い方」動画を 5 本公開。

2. 研究支援

- ・データベース『Scopus』を新規導入し、エルゼビアジャパン(株)の専門講師によるオンライン講習会・基本編（参加者 18 人）／応用編（参加者 8 人）を開催した。
- ・紀要の発行とリポジトリ登録（22 件）。

3. 社会貢献

- ・除却対象資料の内、約 4,300 冊、約 340 人へ 1 冊 100 円で売却。

4. 管理運営

- ・学生協働（図書館学生ボランティア）を募集し、9 人参加。展示やビブリオバトル等を実施。
- ・学生の PC 必携化に伴い、図書館内閲覧カウンターに充電用の電源タップを増設。
- ・「貴重書の取扱いに関する方針」「国立国会図書館から借り受けた資料の取扱いに関する申合せ」を策定。
- ・公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会の会長館を担当し、総会及び研修会「利用促進につながる図書館広報」（参加大学：10 大学 18 人）を開催。
- ・図書資料約 17,000 冊、紀要 1,300 タイトルを除籍。

5. その他

- ・2022 年度に実施したアンケートから「福山市立大学における学部学生の学習実態・環境と附属図書館利用に関する報告書」を学内会議にて報告、データ集計部分を学生向けにポータル掲示、ダイジェスト版を大判印刷して学内掲示した。
- ・学生ボランティア主催、地元書店の(株)啓文社協賛で「全国大学ビブリオバトル 2023 ブロック予選」を開催（発表 4 人、参加 32 人）。

資料 15-6

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：エリザベト音楽大学

1. 教育支援

- ・視聴覚資料 OPAC を進行中。
- ・年度初めに、新入生への図書館オリエンテーションを実施。
- ・過年度入学生への利用指導は、要望に応じて都度対応している。
- ・試験期間中に延長開館を行った。
- ・長期休業期間中の特別貸出（期間・冊数）を実施。

2. 研究支援

- ・図書館内での授業実施申出に応じている。

3. 社会貢献

- ・館長が許可をした高等学校等の授業のために、主に音楽関係資料の館内利用を認めている。
- ・館長が許可をした国内外の研究者・学生等の見学希望を受け入れている。
- ・オープンキャンパスや授業公開日に、要望があれば開館し、説明等を行っている。

4. 管理運営

- ・音楽関係以外の古い洋書の除籍を実施中。
- ・大学院図書室の蔵書点検を実施。

資料 15-7

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：日本赤十字広島看護大学

1. 教育支援

- ・ 新入生（学部、院）対象に対面でガイダンスを実施
- ・ 学部 1 年生の必修科目「基礎ゼミ」内で図書館の使い方、OPAC・データベースの使い方等の講習会を実施
- ・ 展示会（ミニを含む）の実施（14 回）
- ・ ブックハンティングの実施（2 回、参加学生 5 名）
- ・ 図書館インスタグラム発信（65 回）

2. 研究支援

- ・ 紀要第 24 巻刊行
- ・ リポジトリ登録（6 件）、ダウンロード件数 42,191 件
- ・ 大学院生希望者に個別講習会を実施

3. 社会貢献

- ・ 新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したため、学外者の利用を通常（平日 9:00～17:00、予約なし）に戻した。
- ・ 看護職等対象文献検索講習会の実施（6、8 月）
- ・ 中学生の職場体験（8 月、3 名）
- ・ オープンキャンパス、大学祭で「オープンライブラリー」実施

4. 管理運営

- ・ G7 広島サミット対応による開館時間の変更
- ・ カウンター周辺機器（ブックチェック等）の更新
- ・ 図書館システムの更新
- ・ 学生用 PC のメンテナンス
- ・ 閲覧席の座面張り替え
- ・ 蔵書点検（研究室、図書館）実施（不明資料 9 冊）
- ・ 除籍実施（約 2,900 冊）
- ・ 除籍資料、廃棄雑誌の譲渡
- ・ 日本赤十字広島看護大学ブックケアプロジェクト（古本募金）の実施

資料 15-8

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：比治山大学図書館

1. 教育支援

- ・ 教員志望の学生のために、新課程対応の教科書を収書
- ・ 図書館総合システムの安定稼働、経費節約などのため、情報部門の構築した仮想基盤システム内に図書館総合システムを再構築。

2. 研究支援

- ・ 特定学科教員による選書による電子書籍の収書

3. 社会貢献

- ・ 中学生の職場体験受入
- ・ 年間を通して本学キャンパスに於いて業務に従事している者（清掃、警備、売店、レストラン等）[本学キャンパス従事者]への、図書 10 冊 2 週間、雑誌 3 冊 7 日間の貸出利用許可

4. 管理運営

- ・ （課題）明文化された収書方針、もしくは内規の策定
- ・ （課題）人事異動に伴う業務の整理

資料 15-9

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：広島経済大学

1. 教育支援

- ・広島 G サミット関連図書展示及び新聞切り抜き記事掲示 (3/22～6/23)
- ・新入生対象図書館クイズラリーを実施 (4/5～4/21)
- ・入門ゼミ図書館ガイダンスの実施 56 ゼミの入門ゼミガイダンスを実施 (5/1～6/7)
- ・映画 DVD 新規購入アンケート実施 (7/10～7/28 得票数の多い 10 作品程度を購入)
- ・食品ロス削減月間の 10 月に、食品ロスに関するパネル展示と書籍展示
(興動館学生プロジェクトと共催、10/16～10/30)
- ・学生選書イベント実施 かどっちょ書店
(10/19～10/26 参加人数 83 名、選書冊数 117 冊)
- ・岩波ジュニア新書展示 (11/1～11/30)
- ・学部 1～3 年生対象 謎解きゲームイベント「Beek からの挑戦状！」の実施
(12/7～12/26)

2. 研究支援

- ・総合企業情報 DB、「eol」のオンライン講習会を実施
- ・学術情報リポジトリ
新規コンテンツ登録件数：23 件、年間ダウンロード件数：149,806 件
- ・「TKCローライブラリー」の導入
- ・毎日新聞社データベース「毎索」導入

3. 社会貢献

- ・6 月 1 日より学外の方の図書館利用再開。

4. 管理運営

- ・蔵書点検実施 9 月 11 日(月)～14 日(木) 約 19 万冊対象
- ・廃棄予定雑誌のリユースイベント実施 (対象：学内者のみ 11/27～12/9)
- ・広島県大学共同リポジトリ (HARP) から共用リポジトリサービス「JAIRO Cloud」に移行

資料 15-10

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：広島工業大学

1. 教育支援

- ・ 新入生を対象として図書館ガイダンスを実施した。
4～5 月にかけて、12 学科全てを対象に図書館スタッフによる図書館利用方法及び O P A C を利用した蔵書検索方法などを主にした内容で、図書館利用に関する小テストも行った。
- ・ 期末試験期間中は、図書館内の自習室の利用時間を延長し、休日も開放した。
- ・ 図書館主催のイベントを開催した。
「ビブリオバトル」、「ブックハンディング」、「帯ワングランプリ」

2. 研究支援

- ・ 紀要（研究編、教育編）の発行

3. 社会貢献

- ・ 地域の方など一般開放を再開した。

4. 管理運営

- ・ 学内のバリアフリー化の整備の一環として、図書館内に利用者用のエレベータが新規に設置された。
- ・ 新しいソファ、テーブル及び椅子を置いて、新聞・雑誌閲覧コーナーのリニューアルを行った。
- ・ 学生及び教職員に対して、除籍済み図書及び雑誌の無償譲渡を行った。

資料 15-11

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：広島国際大学

1. 教育支援

- ・新入生に対して図書館利用説明会の実施。
- ・HIU（広国大）電子図書館の利用促進

電子ブック利用促進のため、学生・院生に対して利用者 ID とパスワードを発行し、利用有効期間を「卒業年度の 3 月 31 日まで」とした。コンテンツも、芥川賞・直木賞受賞作品、医療小説、自己啓発、エッセイ等の学生が日常的に利用しやすいものを追加し読書推進を図った。

2. 研究支援

- ・電子ブック無料トライアルの実施。

当館が契約している、「Maruzen eBook Library」、「メディカルオンラインイーブックス」、「KinoDen」について、無料トライアルを実施した。

- ・学認、リファラ認証の導入

学認対象データベース：「医中誌」、「メディカルオンライン」

リファラ認証対象電子ブック：「Maruzen eBook Library」、「KinoDen」

対象データベース等におけるリモートアクセスの容易化を目的として、「学認」及び「リファラ認証」を導入した。情報センターより発行されている大学の ID・パスワード等で対象データベース等のログインが可能となり、学外での利用が容易となった。

3. 社会貢献

- ・くろせ・ひろこく交流図書館の実施。

地域貢献、地域連携事業の一環として、本館と東広島市立黒瀬図書館両館で 100 冊ずつのお勧め本を交換し、互いの館で展示紹介および貸出しを行うイベントを開催した。

- ・中学生職業体験の受け入れを実施・

東広島市と呉市の両市から要請を受け、図書館事務室において中学生の受け入れを行った。

4. 管理運営

- ・図書館報の発刊（年 1 回）

資料 15-12

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：広島修道大学

1. 教育支援

a) 学習支援

主に学習支援センターが担当。

- ・学習支援センターが実施する LSC ドキュメンタリーアワーに伴う企画展示を 2 回実施した。

b) 情報リテラシー教育

①修大基礎講座（図書館活用法）、初年次セミナー

授業の中の 1 コマを図書館がサポートする形で施設の利用方法や初歩的な検索方法を紹介した。

修大基礎講座は、大学の学びに必要な学習スキルを習得すること等をねらいとして設置されている授業科目。前期に 1 年生全員が学科毎に受講する。2023 年度は 12 回実施した。

初年次セミナーも同様に 1 年生が受講するが、学部学科により実施の有無が異なり、2023 年度は 16 回ガイダンスを実施した。

②文献検索ガイダンス

教員からの個別の要望に基づき、学生が適切な情報資源にたどり着けるようガイダンスを実施。

2023 年度は 53 回実施した。

c) その他

- ・図書館が年 2 回刊行する情報誌『BOOKMARK』で紹介された図書の展示を 2 回実施した。
- ・学生と教職員の選書イベント(ブックハンティング)を対面で実施した。
- ・学習支援センター、英語担当教員との連携による英語多読マラソンを実施した。

2. 研究支援

- ・機関リポジトリからの研究成果の発信(紀要論文集)。
- ・広島修道大学デジタルアーカイブへ明治法曹文庫のデジタルデータを追加公開した。

3. 社会貢献

- ・広島修道大学デジタルアーカイブのジャパンサーチとの連携(継続)を実施した。
- ・2023 年度 5 月～学外利用を再開した。

4. 管理運営

- ・資料保存のため、カビ発生モニタリングと除去作業を実施した。
- ・学内関係部局と協議の上、データポリシーを作成した。

資料 15-13

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：広島女学院大学

1. 教育支援

(a) 学修支援

- ①ラーニング・アドバイザーによる個別学修支援の強化及び各種講座の実施
- ②資格・検定本コーナーの充実

(b) 利用者サービス

- ①図書館利用促進を目的としたイベントの実施（年 3 回）
- ②学生ボランティアスタッフと図書館職員による特別展示の開催（年 2 回）
- ③ブックハンティングの実施

(c) ガイダンス関係

- ①初年次セミナー図書館案内の実施（RPG ゲームの導入）
- ②3・4 年生対象学科ゼミガイダンスの実施

2. 研究支援

- ①リポジトリ登録による紀要論文等の公開
- ②朝日新聞クロスサーチ未契約オプションコンテンツのトライアルを実施

3. 社会貢献

- ①近隣小学校の社会見学による大学図書館見学の受け入れ
- ②児童教育学科の学生を中心に企画された「よるのとしょかん」の開催
- ③オープンキャンパス等での図書館案内
- ④高大連携プログラムの実施

4. 管理運営

- ①資料の除籍（狭隘化対策等のため）

資料 15-14

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：広島都市学園大学

1. 教育支援

- ① 開館時間の延長
 - 宇品：平日の開館時間を 9：00～20：00 に変更
 - 西風：平日の開館時間を 9：00～21：00 に変更
- ② 土曜日開館
 - 宇品：第 1～3 土：9：00～12：00
 - 西風：月 1 土：9：00～12：00
- ③ 実習用長期貸出
 - ・長期実習に出る学生を対象に、貸出期間を 2 週間から 4 週間に延長
- ④ 講義・ゼミとの連携
 - ・担当教員の要望に沿ったガイダンスの実施
(新入生・検索データベースポータルサイト)
- ⑤ ブックハンティングの実施 (店舗開催・年 2 回)
- ⑥ スポーツ教育関連図書の充実
 - ・ジュニアスポーツ教育コース新設に伴う寄贈資料の受入

2. 研究支援

- ① 学術機関リポジトリへのコンテンツ登録
- ② 学内発行誌に DOI の付与
- ③ 検索データベースポータルサイトの利用促進

3. 社会貢献

- ① 一般利用者の図書館利用再開
- ② オープンキャンパス開催日の開館
- ③ 職場体験の受け入れ (広島市立翠町中学校、広島市立大塚中学校)
- ④ 広島市立図書館・大塚公民館との連携 (企画展示・認知症ブックカフェ・講座)

4. 管理運営

- ① 廃棄予定の雑誌、新聞及び除籍資料の譲渡会を実施
- ② 蔵書点検の実施

資料 15-15

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：広島文化学園大学

1. 教育支援

- a) 学習環境の整備
 - ・資格や教員採用試験・看護実習・教育向けの図書充当（阿賀キャンパス・坂キャンパス）
 - ・本学学芸学部子ども学科教員（学長編集）が出版した図書の展示・複本購入
- b) ガイダンス
 - ・対面で文献検索の演習やシステム機能の利用案内を実施（全キャンパス）
- c) 学内のアクティブ・ラーニング施設の利用促進
 - ・ラーニングcommons利用回数 1,478 名（長束キャンパス）オープンcommons利用回数 915 名（阿賀キャンパス）
- d) 電子リソースの強化
 - ・ビジュランクラウド（医学・看護・健康映像配信サービス）の提供を継続
 - ・全キャンパスで電子書籍の試読サービスを年 2 回計 5 か月間開催。
 - ・電子書籍多読リーディングタイトルの一覧を、ホームページ上で公開
- e) 本に関わるサービス
 - ・キャンパス館間の予約資料の搬送サービスの運用（全キャンパス）
 - ・卒業生、高大連携の研究資料の提供。（阿賀キャンパス）

2. 研究支援

- a) JAIRO CLOUD2 から JAIRO CLOUD3 へ移行完了。
- b) データベースの横断検索（EBSCO host の契約による）
CINAHL, Psych Articles, Medline 等の横断一括検索を提供。

3. 社会貢献

- a) 子育て支援「ぶんぶん広場」（長束）及び地域利用者の図書館利用を再開（全キャンパス）
- b) 高大連携事業で近隣高校と探究学習。呉市協働による研修会場として活用（阿賀キャンパス）
- c) 近隣の中学生を就業体験で受入（阿賀キャンパス、坂キャンパス）

4. 管理運営

- a) 図書館ポータル提供により利用者サービスの拡大
- b) 食堂モニターにパワーポイント動画で利用案内の広報開始（阿賀キャンパス）
- c) ノート PC の管理を図書館内限定からキャンパス内貸出に規制緩和（全キャンパス）

資料 15-16

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：広島文教大学

1. 教育支援

a) 学修環境の整備

- ・ 実習貸出、長期休業貸出、卒業論文作成のための長期貸出を実施。
- ・ シラバス記載図書の本の整備

b) 利用者サービス

- ・ ブックハンティング(オンライン選書)実施 2回(6月、11月)
- ・ 各種展示 特集コーナー:5回(1.文学賞について学んでみよう 2.隙間時間に読書はいかが？ 3~5.「社会と生命科学①~③」(授業関連) 新着図書展示:随時 展示書架棚:随時
- ・ 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスの提供

c) 授業・ガイダンス関係

- ・ ゼミ対象ガイダンスの実施。
- ・ 司書課程授業「図書館概論」で、大学図書館の業務について紹介し、体験講座として、POP作成講座を行った。授業で学生が作成したPOPを利用して、特集展示を実施。
- ・ 司書課程授業「図書館サービス概論」で、図書館広報として実施したイベントや広報の工夫を話した。

d) そのほか

- ・ 図書館広報誌「あらいぐま博士の『読んどる?』」(電子版)発行 年1回 読書推進
- ・ 貸出促進イベント「本を借りたら、雑誌付録があたるかも！」実施(6月、1月)。
- ・ 貸出促進イベント「年末ジャンボ貸出くじ」(12月)
- ・ 就職活動関連資料の充実
- ・ 就職課員による出張相談(授業期 週1回 90分程度)をラーニング・コモンズで実施。
就職関連イベント(企業説明会等)でラーニング・コモンズを定期的に活用。
- ・ 入学予定者の図書館利用体験実施。

2. 研究支援

- ・ リポジトリ新規コンテンツ登録件数:54件、年間ダウンロード件数:93,620件
- ・ データベースの契約
- ・ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供

3. 社会貢献

- ・ 学外者サービスを再開した。

4. 管理運営

- ・ 蔵書点検(全館・研究室貸出資料・教室貸出資料)
- ・ 書棚配架図書の本の整備(利用が少なくなった本を一般書架から電動書架へ移動)
- ・ 除籍図書、廃棄新聞、廃棄雑誌の譲渡
- ・ 図書館外壁塗装工事

資料 15-17

承合事項 A 令和5年度の図書館活動について

回答大学名： 福山大学附属図書館

1. 教育支援

- ・『新入生にすすめる50冊の本』刊行
- ・図書館倶楽部(学生ボランティア)の活動支援
Library News Vol. 18、Vol. 19 刊行
図書館利用方法紹介動画 作成・学内限定公開
全国大学ビブリオバトル2023 地区予選会(中国D・Eブロック)開催補助(10/28) 参加者25名
学内オンラインブックハンティング 第12回(7/3~7/21)、第13回(11/13~12/1) 開催補助
近隣公共図書館での読み聞かせ会(8/26、12/23)、ワークショップ補助(8/26)
他大学学生とのオンライン読書会開催(12/22)
館内展示(Library News 紹介資料、EU関連資料)
- ・全国大学ビブリオバトル2023 中国D・Eブロック地区決戦参加(11/11)
- ・図書館ガイダンスの実施 雑誌・論文の探し方も含む(27件 545名)
- ・オープンキャンパスにて高校生に向けた図書館ツアー開催
- ・授業と連携した資料展示(2科目)

2. 研究支援

- ・学術情報リポジトリにより研究成果を発信
- ・データベース利用講習会(オンライン)の開催
10/3 Sci Finder-n 28名 / 12/5 ディスカバリーサービス summon 47名
- ・学内オンラインブックハンティング開催 全2回 58件(7/3~7/21、11/13~12/1)
- ・Maruzen eBook Library 試読サービス実施(6/1~7/31、10/16~12/15)
- ・貴重図書のweb公開に係る調査(国文学研究所)

3. 社会貢献

- ・地域住民への図書館開放
- ・カレントアウェアネス-E No. 467 寄稿

4. 管理運営

- ・図書館倶楽部ミーティング実施(週一回)
- ・Reprint Desk 導入
- ・土曜日開館の開始
- ・土曜日開館時の学生アルバイトの実施
- ・本館内蛍光灯安定器 一部修繕
- ・リポジトリシステム(WEK03)の移行に伴うデータ整備
- ・データベーストライアル実施
朝日新聞クロスサーチオプショントライアル(10/1~12/31)、JSOTR(2/15~3/31)

資料 15-18

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：福山平成大学附属図書館

1. 教育支援

- ・新入生必修授業「平大入門ゼミ」において「図書館の利用案内」についての図書館オリエンテーションを実施した。
- ・看護学専攻の大学院生を対象に論文検索のオリエンテーションを実施した。(1回)
- ・教員からの依頼により適宜、図書館オリエンテーションを実施した。(計4回)
- ・教職員及び学生に原稿を募集し、冊子「新入生にすすめる本」を刊行した。

2. 研究支援

- ・機関リポジトリに紀要論文等を新規登録・公開した。

3. 社会貢献

- ・執筆者を招致し「第10回図書館 de 哲学カフェ」「第11回図書館 de 哲学カフェ」を開催した。(それぞれ学外利用者を含む25名、21名の参加)

4. 管理運営

- ・入退館ゲートの新規購入(2024.3.22)

資料 15-19

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：安田女子大学

1. 教育支援

a) 学習環境

- ・ 授業参考図書 の 充実 (各学科教員からの推薦図書 の 購入、授業関連図書 の 展示)
- ・ 選書キャンペーン(ブックハンティング)を夏季休業期間中に実施 (11 年目)
- ・ 完成年度に至るまで重点的に関連図書 を 購入
(公共経営学科・生活デザイン学科建築コース)

b) 利用者サービス

- ・ 新入生図書館利用ガイダンスの実施 (全新入生対象)
- ・ 2 年生以上の学生を対象とした図書館利用・文献検索ガイダンスの実施
- ・ 各種ガイダンス動画・資料の提供
- ・ 企画「大学教員が選ぶ図書 150 冊」の実施 (年 2 回)。学科教員による推薦文を添えて、図書館ホームページ並びに図書館展示で紹介。
- ・ ラーニングコモンズ内での新着図書展示
- ・ 優良利用者表彰の実施 (来館回数・貸出冊数の 2 部門、年 2 回)
- ・ 展示コンテストを 10 月に実施 (4 チーム 10 名が参加。4 年目)

2. 研究支援

- ・ 『安田学術研究論集』の刊行 (年 2 回)。
- ・ 学術リポジトリの公開。2023 年度より、本学児童教育学科を母体とする児童教育学会誌『児童教育研究』も継続的に公開。
- ・ 研究分野 (文系・理系) ごとに予算配当し研究用図書 を 購入

3. 社会貢献

- ・ 国文学研究資料館による稲賀文庫の電子化とデータの提供・公開
- ・ 例年受入れを行っている近隣中学校職場体験は中止。

4. 管理運営

- ・ 理工学部(2025 年度開設)図書整備計画の策定
- ・ 書架増設計画の策定 (2024~2026 年度の 3 年計画)
- ・ 図書館システム更新準備 (2024 年度更新予定)
- ・ 貴重資料室の害虫調査<毎月>

資料 15-20

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：近畿大学工学部図書館

1. 教育支援

a) 学習支援・利用案内

- ・在学生向け図書館見学ツアー【参加者：10人（学生8人 教職員2人）】
- ・文献の探し方・データベースの使い方（説明動画を Google ドライブで公開）
- ・文献探索セミナー「CAS SciFinder 講習会」（対面）開催【参加者：39人】

b) 広報活動

- ・学生選書の会（前期1回・後期2回開催）【777冊選定（うち531冊受入）】
- ・ブックリユースコーナー常設
- ・企画展示（2か月毎に入替）、新着図書・多読・受賞作・学生選書コーナー（随時入換）、科学道100冊2023コーナー、図書委員による読書ガイドコーナー
※就活コーナー新設
- ・オープンキャンパス（7/23、8/5）一般開放（自由見学）【入館者：179人】

2. 研究支援

- ・電子ジャーナル・データベース・電子書籍
*一部学外利用可あり
- ・工学部研究報告（No. 57）、工学部紀要（No. 53）発行（学術情報リポジトリ公開）

3. 社会貢献

高等学校（9校）、東広島学（後期開講）、一般利用（5/8～再開）【61人】

4. 管理運営

- ・図書館システム運用
*学園資料取寄サービス運用（中央、農、医、生物理工、産業理工、九州短大、工）
*図書館システム更新（2月）
- ・蔵書点検実施

資料 15-21

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：海上保安大学校

1. 教育支援

当校は全寮制であることから、学習の場と生活の場が一体となっている。学生及び研修生等は、授業等の課業を含め、起床から就寝まで決められた時間割で過ごしている。

このような状況にあつて、学生や研修生等が自由な時間となる平日 19 時から 21 時 45 分までの閉館時間帯ならびに土、日、祝日の閉館日にあつても図書館を利用することができるよう、平成 21 年度から 1 階の一部を自習あるいは読書の場として開放している。

また、読書に親しむための取り組みとして、予算内という縛りはあるが、学生及び研修生等が読みたいと希望する新刊図書を平成 23 年度以降継続して購入し、閉館時間外の開放場所に配架している。さらには、平成 28 年度から、「海上保安政策プログラム（大学院修士課程）」の当校への受入れが始まったことから、同プログラム所属の海外からの留学生に対し、図書館蔵書検索等の支援を行っている。

2. 研究支援

当校の研究紀要である「海保大研究報告」の発送事務を担っているほか、平成 25 年 2 月から「広島県大学共同リポジトリ」に参加していたが、これの廃止に伴い、令和 4 年度から 5 年度にかけて JAIRO Cloud に移行した。こうした機関リポジトリに、海保大研究報告掲載の論文等を登録し、インターネット上で閲覧できるようにしている。平成 27 年 8 月から、リポジトリ掲載のすべてのコンテンツに DOI を付与し、研究支援を行っている。

また、研究用図書については、講座教官の希望に基づいて図書館で一括して購入発議、登録及び管理を実施している。

3. 社会貢献

図書館の 1 階を広く一般市民に開放しているほか、蔵書について、閲覧及び貸し出し等の希望に対応している。

特に、約 7,600 冊の貴重図書（旧海軍大学校図書等）及び約 7,700 冊の海洋法ライブラリー図書を所蔵管理しているが、それらに関する外部からの問い合わせ、閲覧・複写希望等への対応を実施している。

4. 管理運営

図書館の図書の閲覧・貸し出し、返却などの窓口業務については、事実上職員（専門官）1 名で対応しているが、令和 4 年度から、当該職員が、外部の会議出席、休暇取得等で不在となる日については、限定的ではあるが、他部署の職員が図書館職員に代わって対応する体制をとっている。

また、当大学校全体がかかわるものとして、本年 4 月から、

- ① 情報システムの整備及び管理に関すること
- ② 学術情報の収集、整理、保管及び提供に関すること
- ③ ICT を活用した教育及び研究ならびに校務の処理の推進に関すること

を一体的に推進する、「学術情報センター」が発足し、当館についても、職員が「主任学術情報官（併任）」として、これに参画することとなった

資料 15-22

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：山陽女子短期大学

1. 教育支援

- ・新入生必修授業「フレッシュマンセミナー」にて図書館の利用方法について案内
- ・教員からの依頼により、文献検索ガイダンスを実施
- ・広報誌『山女図書館通信』発行
- ・図書館資料貸出推進(年 4 回)として雑誌の付録や雑誌プレゼント企画を実施

2. 研究支援

- ・教職員からのレファレンス、相互貸借対応
- ・『山陽女子短期大学紀要』の編集・発行(規程一部改正、関係資料の大幅修正)

3. 社会貢献

- ・学外者利用(閲覧のみ)
- ・山陽女学園中等部の学生(2 名)に図書館案内

4. 管理運営

- ・蔵書点検の実施

資料 15-23

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：呉工業高等専門学校

1. 教育支援

- ・ 学校見学会や入学説明会等での会場提供

2. 研究支援

- ・ JAIRO Cloud へ研究報告の掲載

3. 社会貢献

4. 管理運営

- ・ 図書館福袋の実施
- ・ 学生の購入希望図書及び本校教職員の推薦図書配架の充実
- ・ 後援会から就職または資格取得支援に関する図書購入費の支援

資料 15-24

承合事項 A 令和 5 年度の図書館活動について

回答大学名：広島商船高等専門学校

1. 教育支援

- ・ 新任教職員対象の図書館ガイダンスの実施
- ・ 進学予定者や専攻科生を対象にした文献検索ガイダンスの実施
- ・ 本科の 1～3 年生までを対象にした作文表現コンクールの実施
- ・ 奨学後援会寄附金による学生用推薦図書を購入

2. 研究支援

- ・ 広島商船高等専門学校紀要第 46 号の編集、発行
- ・ 退職教員の返却図書整理
- ・ 寄贈資料の受入

3. 社会貢献

- ・ 図書館だより第 57～58 号の作成と図書館ホームページでの公開
- ・ 令和 5 年 6 月より新型コロナ対策のため一時中止していた図書館一般公開再開

4. 管理運営

- ・ 図書、雑誌の除籍および廃棄作業
- ・ 書庫に移動書架 2 台設置、箱詰め資料整理